

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市いわふねフルーツパークセンター
	所在地	栃木市岩舟町下津原1587
	施設内容	都市農村交流施設
指定管理者	名称	株式会社 観光農園いわふね
	所在地	栃木市岩舟町下津原1585
	主な業務内容	・農産物の生産、販売 ・農産物の直売施設の設置運営 ・観光農園の経営 他

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	アンケート実施回数		4回	4回
	アンケート回収数		500件	500件
	利用案内掲示数		4か所	4か所
	利用者満足率		80%	80%

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅲ	0.6	15	Ⅲ	0.6	15

指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に基づく管理運営を行っています。 ・クールシェア、ウォームシェアの共有施設として、来場者が過ごしやすい環境づくりを図り、また、平成27年度から“あかちゃんの駅”の指定施設として、利用者のニーズに対応できるよう業務を遂行しています。 ・館内を適宜巡回し、利用者の声を受け止め、サービス向上に努力しています。 ・イベント開催時にアンケートを実施し、利用者の意見に迅速に対応しています。
-----------	---

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者である観光農園いわふねの自主事業となるいちご狩りやぶどう狩り等の体験農園施設と併せて整備された施設として、個人客からバスツアーのお客様、外国人と多種多様な来客があります。多い時にはバスが20台連続して来園する施設ですが、それほどの苦情もなく努めていることは高評価と見受けられます。
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		303,000人		325,280人		
	入込数のアップ		5%up		7%up		
	イベント実施数		6回		7回		
	イベントチラシ発行回数		6回		7回		
	地域との協働事業数		2回		3回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>・今年度来場者（レジ通過者数）が、目標値を大幅に上回ることができました。施設の充実のほかに、ホームページの更新回数の増加、SNSやイベントのチラシ配布など情報発信による成果が出ていると思われます。今後も情報発信に努めていきます。</p> <p>・3月～5月のGW終了までの期間は無休とし、利用者の利便性を向上させました。</p> <p>・自主イベントの開催をはじめ、今年度は大型観光キャンペーンDC関連のイベントや近隣のみかも山東エリアの施設（県営みかも山公園、とちぎ花センター等）との連携事業を開催しました。また、とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道協議会の参入による合同イベントを実施することができ、新たな利用者層の拡大、増加に向けた取組みを充実させることができました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・栃木市の観光施設として、多くのイベント等に利用されています。管理者だけでなくイベント等を主催する市や県などからの情報発信も利用者の大幅アップにつながっていると思われます。みかも山東エリア（県営みかも山公園、とちぎ花センター、道の駅みかも）の施設とも連携して情報発信や事業を行っており、今後も継続を期待します。</p> <p>3月～5月GWは人出も多くなり、その期間は無休で営業を実施しており、施設の運営に努力が見られます。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減額		69,000	266,042円増			
	経費削減率		1%	4.2%増			
	見積合わせ実施社数		2件	2件			
	施設(備品)修繕数		2か所	2か所			
	エネルギー使用管理		通年	通年			
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	IV	0.4	6	III	0.6	9
指定管理者コメント	<p>・指定管理料および施設使用料の収支手続きは適正に行っています。</p> <p>・今年度は、事業計画の事務経費より実績は増額してしまいましたが、昨年度の経費と比較すると、施設管理費を60%削減することができました。これは、施設や機器の修繕および維持補修が減ったことが要因です。しかし、今後も経年劣化による故障が増える事が予想されます。利用者の安心安全およびサービス低下にならないように、市と協議しながら計画的な維持管理を図りたいと思います。</p>						
施設所管課コメント	<p>・計画値とは反対に経費が増額してしまいましたが、修繕等による増額ではなく、2年に1度の点検委託料や水道光熱費の増額等、利用者のサービス低下にならないために必要不可欠なものです。次年度は進捗状況を確認しながら施設管理の維持を持続してもらいたいと思います。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか						
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか						
	③ 職員の福利厚生は充実しているか						
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか						
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>						
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	人員配置数			常時3人	4人		
	研修会開催数			1回	1回		
	研修会参加者数			10人	15人		
	経常収支比率			100%	63.4%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理運営のための従業員の研修や適正な人員の確保と安定した施設運営を遂行しています。 ・昨年の経常収支比率25.5%より回復はできましたが、100%を目指すうえで、まだまだ厳しい経営努力が必要です。 ・社員の保険料や各種税金等は、適切に納めています。 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を実施していくために、適正な人員配置および研修がされています。従業員間の情報共有もしっかりされています。 ・財政状況が平成28年度ひっ迫しましたが、市の協力もあり回復してきています。次年度も継続して企業努力により立直していただきたいと思います。 						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全点検実施回数		2回/年		2回/年		
	日常清掃業務		毎日		毎日		
	事故発生件数		0件		0件		
	訓練実施回数		1回		1回		
	訓練参加者数		30人		30人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・併設する「栃木市岩舟農村環境改善センター」と併せて防火管理者を定める等、事故防止に努めています。栃木市消防署の署員を講師に迎え、防火、避難訓練を実施し同施設に関係する職員および各施設従業員と合同で研修会を開催しました。 ・個人情報保護の方針に従い、適切に行っています。 						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の点検が、しっかりされています。各テナントにも目を配り、必要あるときは迅速に対応が来ています。 ・併せて管理を行っている岩舟農村環境改善センターとの緊急時の避難経路も等のマニュアルも整備が進んでおり、完成は近いと思われます。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	15	15
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20
(3) 施設経費の削減の取組み	15	6	9
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	16
評価点合計	100	73	76
総合評価		B	B

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	30年3月	29年3月	28年3月
資産総額	97,070,731	94,018,995	59,915,730
売上高	154,315,966	127,491,883	150,767,873
経常利益	△ 26,710,662	△ 58,304,351	△ 14,998,194
当期利益	△ 26,499,386	△ 58,513,851	△ 15,207,694
経常収支比率	63.4%	25.5%	77.5%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	30年3月	29年3月	28年3月
経常費用	72,889,626	78,308,617	66,573,679
経常収益	46,178,964	20,004,266	51,575,485
経常収支比率	63.4%	25.5%	77.5%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

本年度は、自社事業の売上額の増加により、経常収支比率が昨年より大きく回復しました。しかし、経営状況の厳しい現状は変わらず、市と協議しながら立て直しを図りたいと思います。